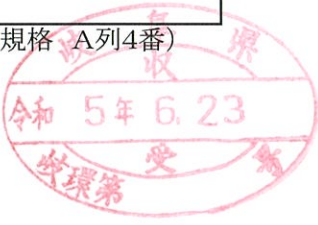


様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和5年 6月 23日	
岐阜県知事 殿	
提出者 住友林業ホームテック(株)名古屋支店	
住 所 愛知県名古屋市東区葵1-19-30 マツクアートプラザオフィス棟 7階	
氏 名 支店長 中筋 諭也	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 052-979-8871	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	住友林業ホームテック(株) 岐阜店
事業場の所在地	岐阜県岐阜市金町6-6 ニッセイ岐阜ビル11階
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	令和4年度実績 元請完成工事高 813,512千円
③ 従業員数	20名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	①各建築工事現場にて産業廃棄物発生（解体工事及び工事中発生） ②委託契約をしている収集運搬業者にて中間処理施設へ運搬 ③委託契約をしている中間処理業者にて再生及び最終処分への処理を行う。（破碎・選別） ④中間処理業者にて有価償却物・再生品目の売却物及び最終処分場への運搬を行う。 ⑤最終処分場にて処分

（日本産業規格 A列4番）



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 排出品目及び排出量の管理を行い、毎月データを集計し排出抑制に努める。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き下記の項目に取り組む事とする。 排出品目及び排出量の管理を行い、毎月データを集計し排出抑制に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 指定産廃分別袋により現場にて分別の徹底を図る。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き下記の項目に取り組む事とする。 指定産廃分別袋により現場にて分別の徹底を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	①委託処理業者の適性処分管理をJWNETにて行い、毎月末日に集計を行い、最終処分報告の漏れが無いように管理を行う。		
	②委託処理業者に対する適正管理を行う為、年一回現地にて処理状況を確認する。(踏査)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 分別回収の実施。 再利用を促進し廃棄物の抑制の実施。		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和4年度の産業廃棄物発生量（実績）及び 令和5年度の目標

産業廃棄物の種類 (名称)		廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	合 計
項 目						
4年度の産業廃棄物発生量（実績）		101.99	27.88	450.66	5.28	1510.92
① 産業廃棄物発生量		65	20	300	2	1000
② 自己直接再生利用量						
③ 自己直接埋立処分又は海洋投入量						
④ 自己中間処理量						
⑤ 自己中間処理残さ量						
⑥ 自己中間処理後再生利用量						
⑦ 自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量						
⑧ 直接委託及び自己中間処理後委託処分量		65	20	300	2	
k 再生利用量						
l 中間処理による減量						
m 最終処分量						

(単位：t／年)

令和4年度の目標

(注) 1 特別管理産業廃棄物及び一般廃棄物は記入しないでください。
2 記入欄が不足する場合は、コピーしてお使いください。
3 単位を間違えないよう注意してください。

令和4年度の産業廃棄物発生量（実績）及び 令和5年度の目標

(単位：t／年)

項 目	産業廃棄物の種類 (名称)		金属くず	ガラス・ 陶磁器くず	混合(安定型)	混合(管理型)	合 計
4年度の産業廃棄物発生量(実績)							
①	産業廃棄物発生量		142.29	132.97	0	22.50	1510.92
	② 自己直接再生利用量		95	85	0	13	1000
	③ 自己直接埋立処分又は海洋投入量						
	④ 自己中間処理量						
	⑤ 自己中間処理残さ量						
	⑥ 自己中間処理後再生利用量						
	⑦ 自己中間処理後自己埋立処分 又は海洋投入量						
	⑧ 直接委託及び自己中間処理後委託 処分量		95	85	0	13	
k	再生利用量						
l	中間処理による減量						
m	最終処分量						

令和4年度の目標

令和4年度の目標

(注) 1 特別管理産業廃棄物及び一般廃棄物は記入しないでください。
2 記入欄が不足する場合は、コピーしてお使いください。
3 単位を間違えないよう注意してください。

令和4年度の産業廃棄物発生量（実績）及び 令和5年度の目標

（単位：t／年）

項 目	産業廃棄物の種類 (名称)		廃石膏ボード	がれき類	合 計
4年度	産業廃棄物発生量（実績）		136.39	490.96	1510.92
令和4年度の目標	②	産業廃棄物発生量	90	330	1000
	②	自己直接再生利用量			
	③	自己直接埋立処分又は海洋投入量			
	④	自己中間処理量			
	⑤	自己中間処理残さ量			
	⑥	自己中間処理後再生利用量			
	⑦	自己中間処理後自己埋立処分 又は海洋投入量			
	⑧	直接委託及び自己中間処理後委託 処分量	90	330	
	k	再生利用量			
	1	中間処理による減量			
	m	最終処分量			

- (注) 1 特別管理産業廃棄物及び一般廃棄物は記入しないでください。
2 記入欄が不足する場合は、コピーしてお使いください。
3 単位を間違えないよう注意してください。